2019年度
環境経営レポート

2019.5～2020.4

ENVIRONMENTAL REPORT

Matsumura Alloy Dies Laboratory Co., Ltd. Environmental Activities Report

株式会社 松村合金ダイス研究所

2019年7月27日

２０１９年度環境経営レポート　目次

- ご挨拶　経営理念　・・・・・・・・・・・Ｐ３
- 環境方針　品質方針　・・・・・・・・・・Ｐ４～5
- 会社組織図　・・・・・・・・・・・・・・Ｐ6
- 会社概要　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
- 環境負荷の実績　・・・・・・・・・・・・Ｐ８～9
- ＣＯ２排出量グラフ・・・・・・・・・・Ｐ10
- 環境活動の取り組み計画と評価　・・・・Ｐ11～13
- 実績及び目標値推移グラフ・・・・・・・Ｐ14～16
- 環境関連法規制等の遵守状況　・・・・・Ｐ１７
- 様々な活動　・・・・・・・・・・・・・・Ｐ18～20
- 火災訓練　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ20
- エコマーク　・・・・・・・・・・・・・・Ｐ21

ご　挨　拶

令和元年度は平成30年度同様に計画比には大きく及ばず深刻な結果となってしまいました。

また世界、日本経済は危機的状況に追い込まれています。中国湖北省武漢市で2019年12月8日に発生した新型コロナウィルスが現在も猛威を振るっています。日本で初めて報告があったのは2020年1月です。当然医学の知識などない私はこの時点では鳥インフルエンザや豚コレラ的なイメージで見ていました。次の段階ではSARS,MARSに類似したウィルスであると見えてきました。ところが途轍もなく恐ろしいウィルスでありました。外出の自粛、イベント中止、次の段階では三密（密閉・密集・密接）の回避、ソーシャルディスタンス、エチケットマスク・・・などの要請やお願いが出てきました。

2019年度はこのような最悪の状況で終了しました、問題は2020年度です。アフターコロナ、ウィズコロナなどと言われていますが、収束の兆しは見えていません。当社としても最大限の注意を行いながら、経済活動を進めてまいります。

株式会社　松村合金ダイス研究所

代表取締役　松村　謙三

経　営　理　念

一、私達は心豊かな生活をおくる為の会社づくりを目指し、
共に悩み、考え、学び、喜べる関係を作ります。

一、私達は日々進歩する技術に積極的に取り組み、
お客様からの信頼を得るもの創りを行い、共に事業の
永続的繁栄を目指します。

一、私達は「もの創り」を通して、地域社会と共に歩める
会社創りを考えます。

株式会社　松村合金ダイス研究所

環　境　方　針

＊＊　環　境　理　念　＊＊

地球環境を維持するために、「私たちができる、小さな努力です」運動を展開し、私たちが作り出す樹脂押出成形金型を通じて、お客様が環境にやさしい製品を創造することにより、社会貢献とともに、地球環境保全を意識した企業作りを構築し、循環型及び低炭素社会の一翼を担っていきます。

＊＊　環境保全への行動指針　＊＊

1．　次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①　二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
・電力（工場、事務所）
・自動車燃料（社用車）
・灯油
②　廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
・一般廃棄物（可燃ごみ）
・産業廃棄物（金属くず、廃プラ）
③　排水量の削減（水資源の保全）
・一般水道水
④　社会貢献
・地域での環境活動への積極的な参加（事業所周辺の清掃等）
⑤　グリーン購入
・エコマーク商品の購入
⑥　製品・サービスへの環境配慮
・リーユース促進の情報の受発信
・包装資材のグリーン化
⑦　化学物質の管理

2．　環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3．　環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008 年 10 月　8 日
改定日：2016 年　5 月 20 日

署名　代表取締役社長
松村謙三

品　質　方　針

当社は全てのお客様の期待に応える質の高いサービスの提供をする。
顧客満足の絶え間ない向上を目指し、製品、そしてサービスの継続的改善を実践する。
当社の業績向上は、当社の品質管理マネジメントシステムの枠組みに基づく業務の実行、業務に求められる基準の理解、業務プロセスの改善、及び絶えず高められる品質目標を満たす事により獲得できる。

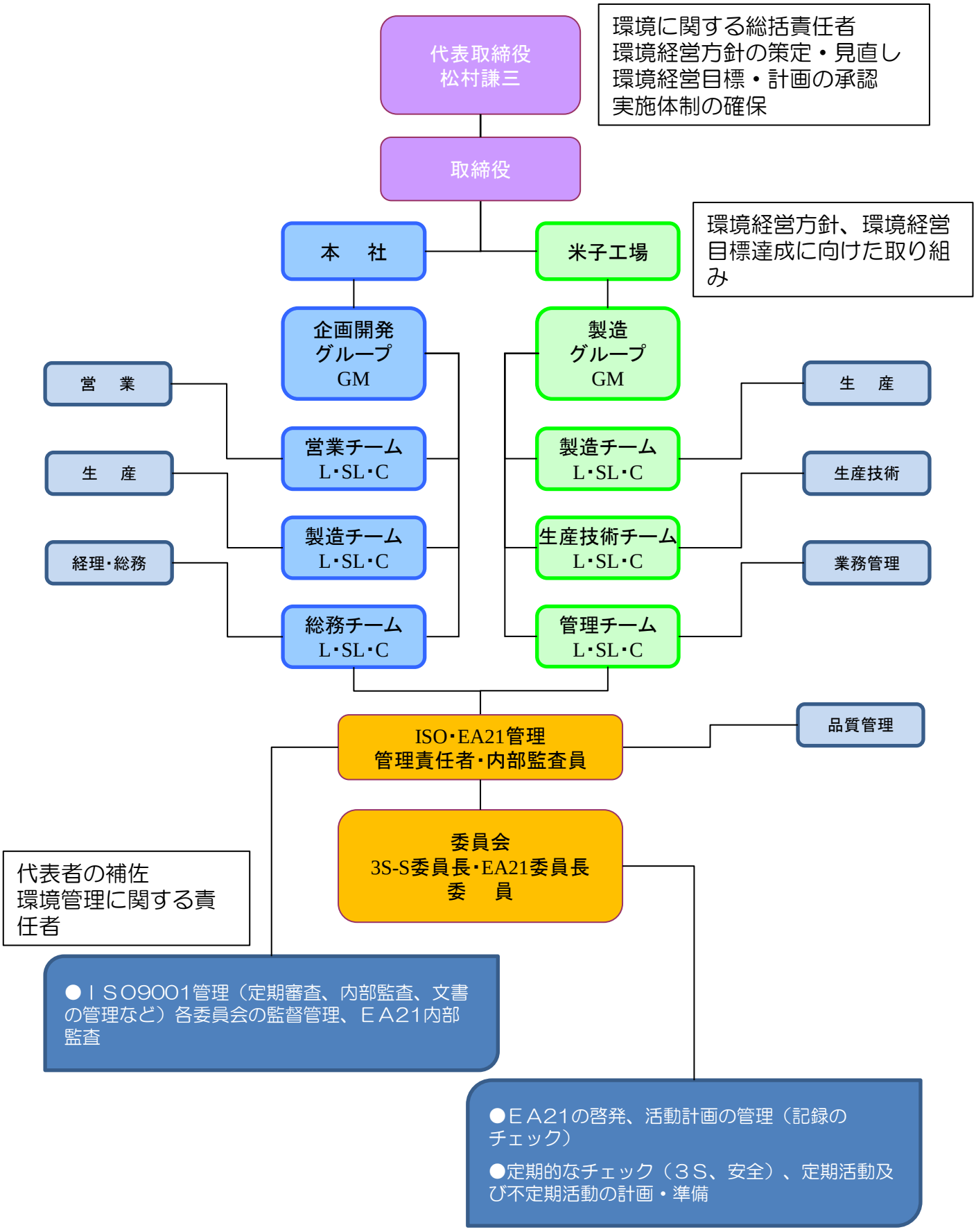
制定　2006年6月1日

エコアクション21
認証番号 0004029

JQA-QMA
13544

大阪の元気!ものづくり企業

２０１９年度　㈱松村合金ダイス研究所　会社組織図



1.事業署名

株式会社　松村合金ダイス研究所

代表取締役社長　松村謙三

2.所在地

本　　社：大阪府東大阪市豊浦町2番2号

米子工場：鳥取県米子市和田町1305番地

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：　http://matsumura-die.co.jp

e-mail　：　info@matsumura-die.co.jp

3.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

本社環境管理責任者　　：代表取締役社長　松村 謙三　・　土井 勝雄

電話：072-988-3059　ＦＡＸ：072-986-8643

米子工場環境管理責任者：製造グループ　山田 国彦

電話：0859-28-8623　ＦＡＸ：0859-28-5246

4.事業内容（認証・登録の範囲）

電線及びチューブ用の樹脂押出成型金型の設計及び製造

5.事業の規模

	本　社	米子工場	合　計
社員数	８名	１３名	２１名
延べ床面積	３３０㎡	７６５㎡	

6.事業年度

５月～４月

□主な環境負荷の実績（全社）

項　目	単位	基準年度	2019年度実績
二酸化炭素排出量（対象：エネルギー総量） *電力の二酸化炭素排出量換算係数＝0.407	kg-CO2/年	62,688	40,590
一般廃棄物量排出量 （米子工場の基準年度は2014年に変更）	kg/年	646(本社：2008年) 1,070(米子：2014年)	1,276
産業廃棄物排出量	kg/年	3,006 (金屑:2008年)	2,410
総排水量 （本社の基準年度は水洗化のために2011年に変更）	㎥/年	510 (2008年)	350

※電力の二酸化炭素配収係数を0.407に変更.本社・米子共に統一する。（2019年度より）

□環境目標及びその実績

項目＼年度			2016年	2017年	2018年	2019年	2019年	2020年	2021年
		上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
		中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
		下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
		基準値 (基準年度)	実績	実績	実績	（目標） 基準年度比	実績	（目標） 基準年度比	（目標） 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減 (係数：0.407) ※斜線部の数値は現在の係数は非適用 ※基準年度を2016年実績に設定	kg-CO2	31,554 (2016)	~~41,154~~	~~43,751~~	~~31,776~~	31,354	29,547	31,291	31,228
		5,867 (2016)	~~7,655~~	~~6,958~~	~~6,291~~	5,832	5,172	5,820	5,809
		25,676 (2016)	~~33,499~~	~~36,793~~	~~25,485~~	25,522	24,375	25,471	25,420
	基準年度比		基準値	106.3%	96.1%	99.4%	94.2%	99.2%	99.2%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	10,465	10,080	9,596	9,439	9,302	8,936	9,310	9,310
		9,449 (2008)	9,228	8,829	8,713	8,296	8,237	8,306	8,306
		1,016 (2014)	852	767	725	1,006	699	1,004	1,004
	基準年度比		本社：99.4% 米子：83.9%	本社：93.0% 米子：75.5%	本社：87.9% 米子：99.2%	本社：87.8% 米子：99.0%	本社：94.6% 米子：96.4%	本社：87.9% 米子：98.8%	本社：87.9% 米子：98.8%
	昨年度対比		94.8%	91.7%	99%		85.4%		
灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	11,069 (2008)	11,306	4,628	3,657	9,080	2,107	9,075	9,075
		1,837 (2008)	1,524	1,433	1,389	1,505	581	1,505	1,505
		9,232 (2008)	9,782	3,195	2,268	7,575	1,52	7,570	7,570
	基準年度比		102.1%	41.8%	33.0%	82.0%	19.0%	81.9%	81.9%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	62,688	62,539	57,975	44,872	59,295	40,590	59,210	59,210

年度 / 項目			2016年	2017年	2018年	2019年	2019年	2020年	2020年
		上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
		中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
		下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
		基準年度	実績	実績	実績	（目標）基準年度比	実績	（目標）基準年度比	（目標）基準年度比
一般廃棄物の削減 本社	（kg／年）	646 (2008)	432	481	472	471	426	469	467
	基準年度比		66.9%	74.5%	73.0%	72.7%	65.9%	72.5%	72.3%
一般廃棄物の削減 米子	（kg／年）	1,070 (2014)	1,190	1,050	1,038	1,036	850	1,034	1,031
	基準年度比		111.2%	98.1%	97.0%	96.8%	79.4%	96.6%	96.4%
産業廃棄物（金属くず）の削減　米子	（kg／年）	2,776 (2008)	2363	2,592	2,665	2,662	2,180	2,659	2,657
	基準年度比		85.1%	93.4%	96.0%	95.9%	78.5%	95.8%	95.7%
産業廃棄物（廃プラ）の削減　米子	（kg／年）	230 (2014)	110	0	221	219	230	216	214
	基準年度比		47.8%	0%	96.0%	95.0%	100%	94.0%	93.0%
水道水の削減（節水） 本社基準年度は、水洗化に伴い、2011年度（162㎥）基準で再設定	（㎥／年）	510 (2008)	347	321	450	448	350	446	445
		162 (2011)	124	110	156	155	103	154	153
		377 (2008)	223	211	294	293	247	292	292
	基準年度比 本社		76.5%	68.0%	96.5%	95.5%	63.5%	95.0%	94.5%
	基準年度比 米子		59.1%	56.0%	78.0%	77.7%	65.5%	77.5%	77.3%
製品・サービスへの環境配慮（修理金額）千円 ＊1基準年度は2010年度	本社	3,290 (2010)	5,839	7,760	3,520	3,553	2,894	3,586	3,619
社会貢献として工場周辺の清掃を致します	（年）	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回	（本社）48回 （米子）2回

上記の他
＊1　グリーン購入を目標項目として活動しています。
＊数値は自動計算値を使用のために一の位は変動します。
＊都市ガス・LPGは含まず
＊表の数値は自動の計算の一の位の数値は多少違っています

□２０１９年度　環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 目標比	評価及び次年度の取り組み計画
電力の削減 ■ 節電運動展開 ■ 不要照明の消灯 ■ クールビズ・ウォームビズ運動 ■ 工程ロス削減による稼働時間短縮 ■ 冷房２８℃　暖房２０℃（基準温度計設置） ■ 標識・表示による啓発	基準年度	41,154	k g-CO2	■本社：目標達成 普段の様子から、節電が意識づいているのを感じます。この調子でいきましょう。 ■米子工場：目標達成 冬のストーブ（灯油）の使用料を減らす為エアコンの使用量が増えた。 １２月～４月の電力量が増えたが目標は達成出来ている。 ※CO2排出係数の変更に伴い。
	目標：総轄	31,354		
	目標：本社	5,832		
	目標：米子	25,522		
	実績：総轄	29,547	69.7%	
	実績：本社	5,172	55.8%	
	実績：米子	24,375	74.3%	
ガソリンの削減 ■ アイドリングストップ ■ 急加速・急停車の防止 ■ 燃費のよい車の購入（更新時） ■ 公共交通機関の利用促進 ■ 表示による啓発	基準年度本社	9,545	k g-CO2	■本社：目標達成 3月4月の使用量が減っているが、新型コロナウィルスの影響である。他の月はあまり良い結果ではない。 ■米子工場：目標達成
	基準年度米子	1,016		
	目標：総轄	9,302		
	目標：本社	8,296		
	目標：米子	1,006		
	実績：総轄	8,936	96.1%	
	実績：本社	8,237	99.3%	
	実績：米子	699	69.4%	
灯油使用量の削減 ■ 表示による啓発 ■ 基準温度計を元に室温管理 ■ ウォームビズの推進	基準年度	11,069	k g-CO2	■本社：目標達成 エアコンの利用率をあげ、ストーブを減らしていた効果が出ている。 ■米子工場：目標達成 冬の暖房を主にエアコンを使用したので大幅の削減が出来た。
	目標：総轄	9,080		
	目標：本社	1,505		
	目標：米子	7,575		
	実績：総轄	2,106	23.1%	
	実績：本社	581	38.6%	
	実績：米子	1,525	20.1%	
一般廃棄物の削減 ■ 裏紙使用 ■ ミスコピーの防止 ■ 分別による古紙のリサイクル化 ■ 両面印刷用プリンタ購入 ■ マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	基準年度 本社	646	Kg	■本社：目標達成 昨年よりも総量が増えてしまった。４月は外出の頻度が減り、社内の模様替え等を行ったせいか。 ■米子工場：目標達成
	目標：本社	471		
	実績：本社	426		
	基準年度 米子	1,070	kg	
	目標：米子	1,036		
	実績：米子	850		

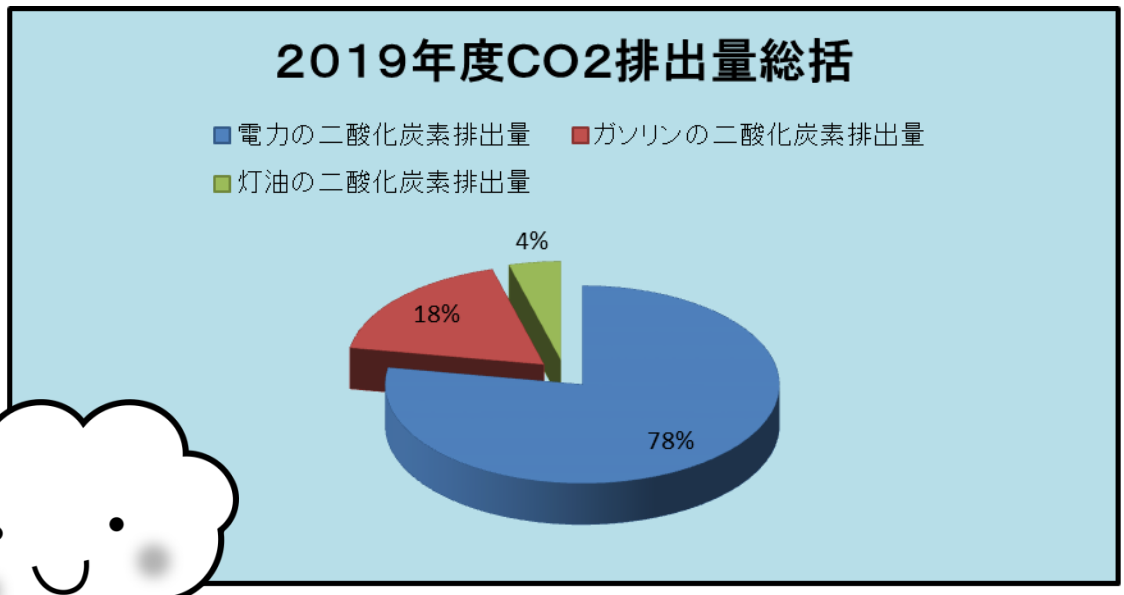
取り組み計画	達成状況		単位 目標値比	
産業廃棄物（金属くず）の削減 ■生産ロスの低減 ■材料取りの効率化	基準年度	2,776	kg	■目標達成
	目標：総轄	2,662		
	目標：米子	2,662		
	実績：総轄	2,180	81.9%	
	実績：米子	2,180		
産業廃棄物（廃プラ）の削減 ■生産ロスの低減 ■材料取りの効率化	基準年度	230	Kg	■目標達成 現状維持を心がけたい。
	目標：総轄	219		
	目標：米子	219		
	実績：総轄	230	105%	
	実績：米子	230		
水道水の削減 ■節水呼びかけ ■シャワーノズル取り付け ■表示による啓発 ※基準年度及び数値 ・本社：2011年　162㎥ ・米子：2008年　377㎥	基準年度	539	㎥	■本社：目標達成 ■米子工場：目標達成
	目標：総轄	448		
	目標：本社	155		
	目標：米子	293		
	実績：総轄	350	78.1%	
	実績：本社	103	66.5%	
	実績：米子	247	84.3%	
グリーン購入 ■購入リストの作成 ■購入物品リストの作成 ■エコマーク物品の抽出 ■購入物品の確定 ■エコカー、エアコンの買い替え				■目標達成 エコマーク等省エネを意識した活動は続いています。
製品・サービスへの環境配慮 ■リユースの提案 ■設計、開発段階での提案 ■リユース受注のためのＰＲ ■（ホームページでの啓発、営業活動でのＰＲ） ■修理品受注金額の集計（リユース、リペア） ■包装資材のグリーン化と削減 ■環境負荷物質の使用禁止（梱包ケースをプラスチックからポリエチレンに変換） ■梱包資材のリユース				■目標未達成

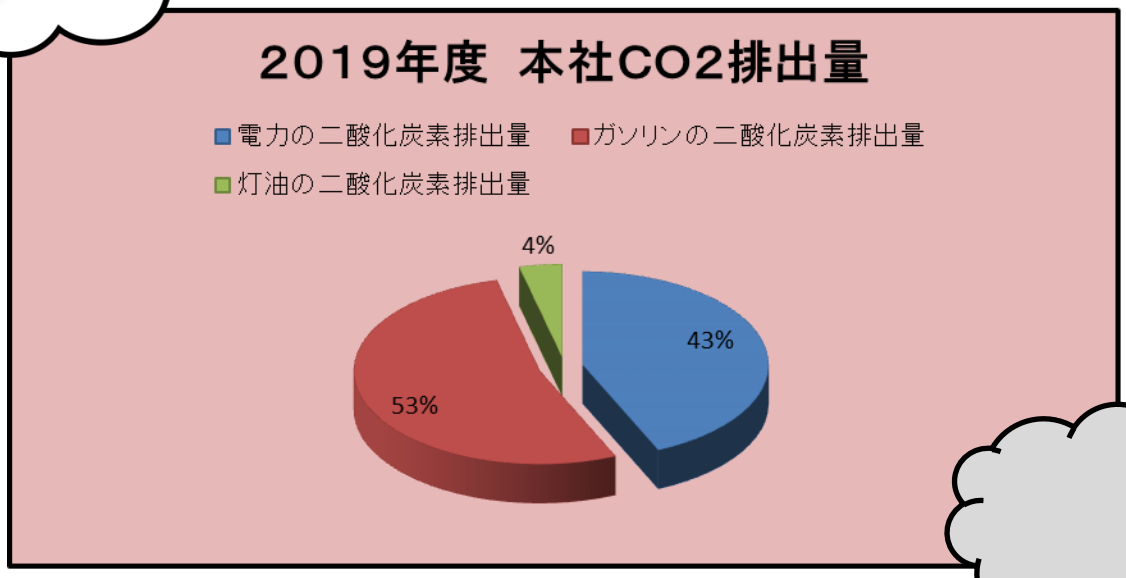
製品・サービスへの環境配慮 ■修理品販売高 管理場所　本社	基準年度	3,290	（千円）	■目標未達成 明らかな修理依頼件巣の減少を感じる。徹底した声かけを。
	目標：総轄	3,553		
	目標：本社	3,553		
	実績：総轄	2,894	81.5%	
	実績：本社	2,894		

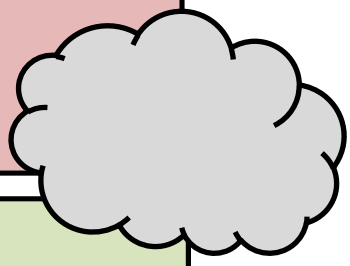
取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	
社会貢献 ■工場周辺の清掃　本社 ■工場周辺の共同清掃　米子	本社目標	毎週		■目標達成 3S-S活動を中心として本社、米子工場共に順調に推移しています。 ＊次年度の取り組み 継続的改善活動 徹底した3S-S活動を進めてまいります。
	実績	毎週	100%	
	米子目標	年2回		
	実績	2回	100%	

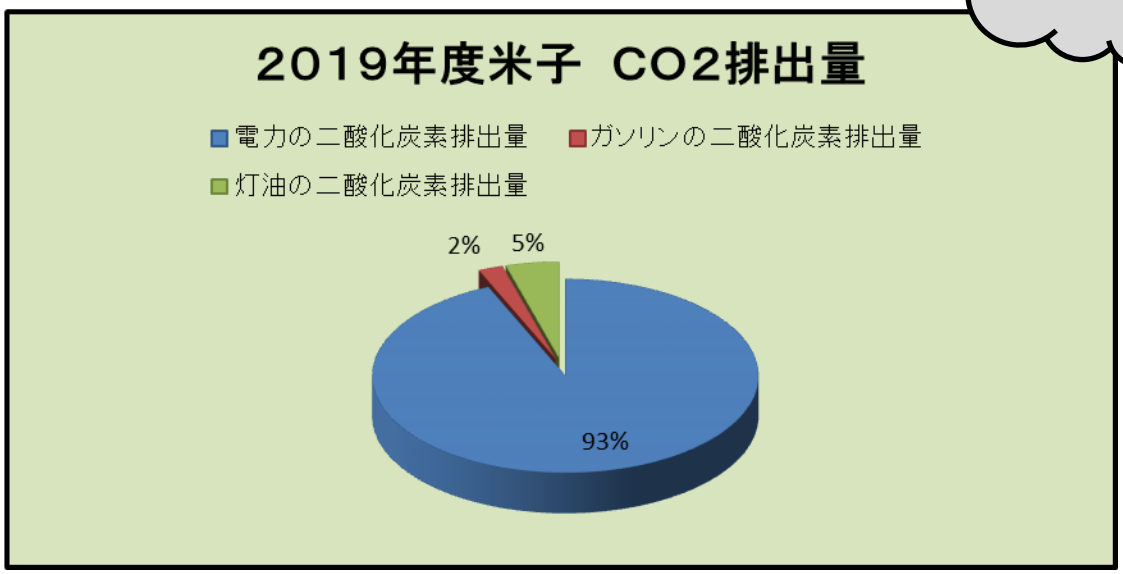
コバルト及びその他無機化合物の管理 ■管理場所　米子工場	健康診断	作業担当者は年2回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	作業主任者選任	
	発散抑制装置設置	
	作業記録の30年間保管	
	2013年1月1日付けで施行された、労働安全施行令等の一部改正により、特定化学物質の第2分類として「コバルト及びその他無機化合物」が新たに追加された。	
粉じんの濃度測定の管理 ■管理場所　米子工場	健康診断	作業担当者は3年に1回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	発散抑制装置設置	
フロン排出抑制法 ■管理場所　本社、米子工場	簡易点検：３カ月に１回 定期点検：7.5kW～50kWの空調機３年に１回以上	

2019年度 CO2排出量の構成比



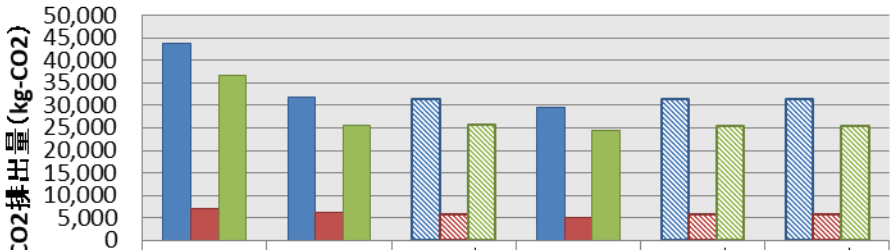






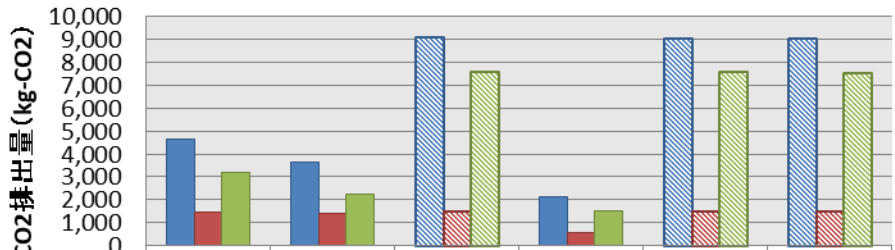
2019年度　実績及び計画値グラフ

電力の二酸化炭素総排出量



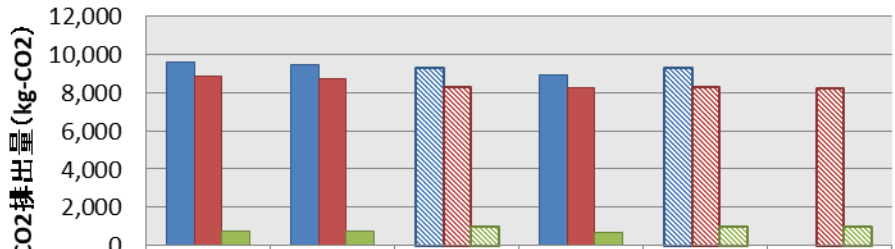
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
総括	43,751	31,776	31,354	29,547	31,291	31,228
本社	6,958	6,291	5,832	5,172	5,820	5,809
米子	36,793	25,485	25,522	24,375	25,471	25,420

灯油の二酸化炭素総排出量



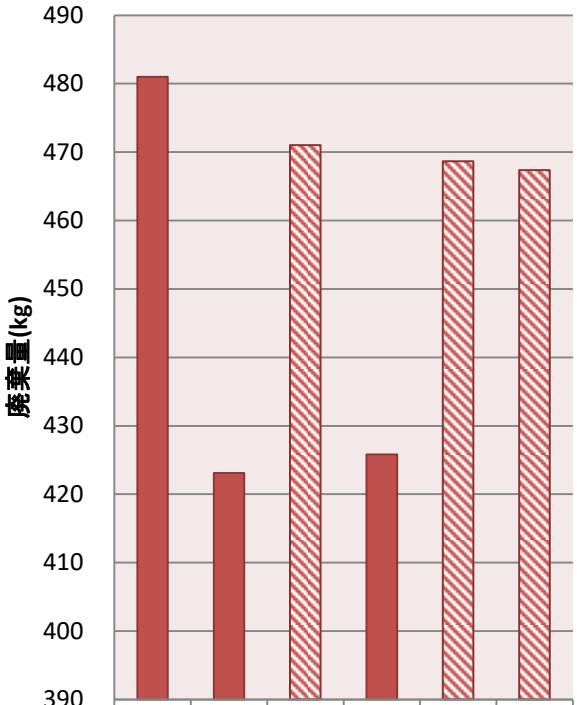
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
総括	4,628	3,657	9,080	2,106	9,074	9,063
本社	1,433	1,389	1,505	581	1,505	1,503
米子	3,195	2,268	7,575	1,525	7,570	7,560

ガソリンの二酸化炭素総排出量



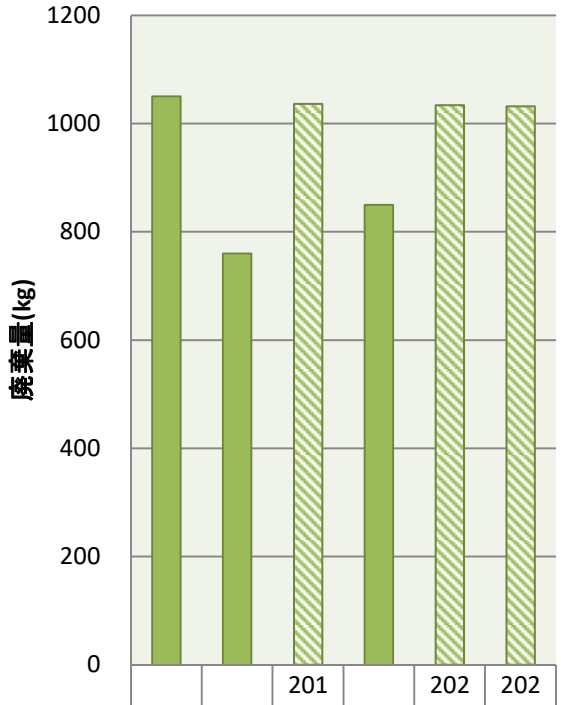
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
総括	9,596	9,439	9,302	8,936	9,291	
本社	8,829	8,713	8,296	8,237	8,287	8,268
米子	767	725	1,006	699	1,004	1,002

一般廃棄物削減　本社



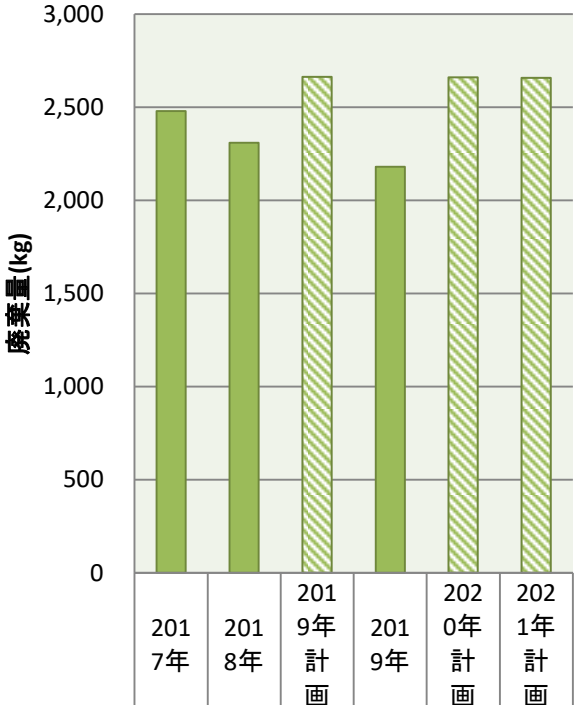
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
本社	481	423	471	426	469	467

一般廃棄物削減　米子



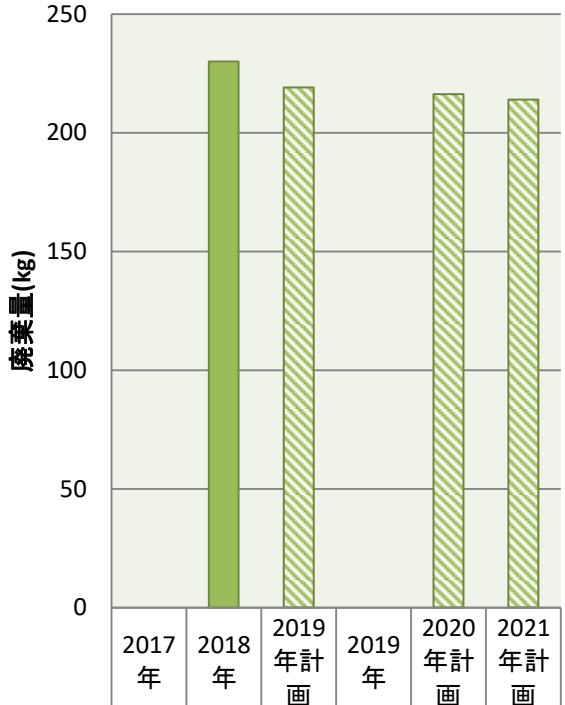
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
米子	1050	760	1036	850	1034	1031

金属くず削減　米子



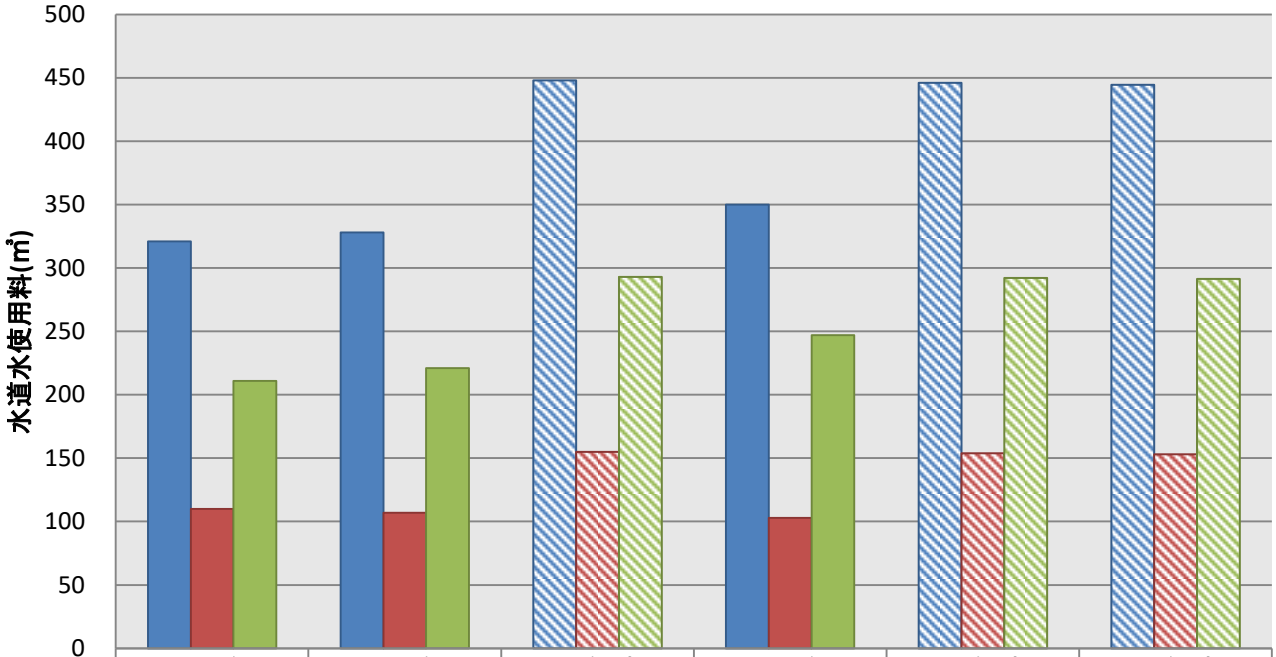
	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
米子	2,479	2,308	2,662	2,180	2,659	2,657

廃プラの削減　米子

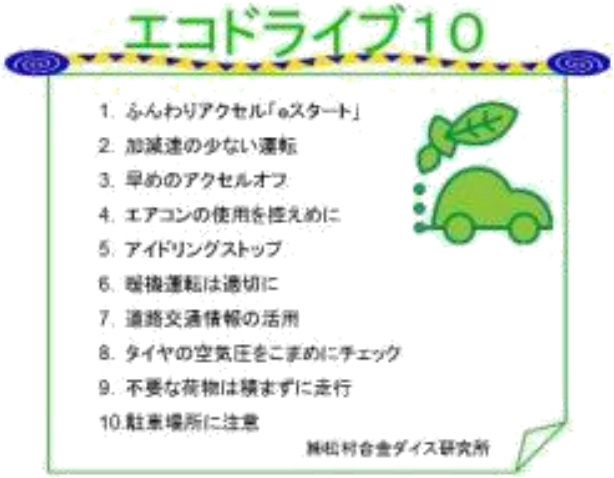


	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
米子	0	230	219	0	216	214

水道水の削減



	2017年	2018年	2019年計画	2019年	2020年計画	2021年計画
総括	321	328	448	350	446	445
本社	110.0	107.0	155.0	103.0	153.9	153.1
米子	211.0	221.0	293.0	247.0	292.2	291.4



□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。	
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙屑・木屑・繊維ｸｽﾞ等)、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ・廃プラ・廃油等）
水質汚濁防止法	貯油施設の事故時の対応と届出
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理・回収・破壊の工程の確認 空調機の簡易点検・定期点検の実施
浄化槽法	定期点検・水質検査
労働安全衛生法	特定化学物質第２分類物質「コバルト及びその他無機化合物」 ・作業主任者選任　・作業環境測定 ・健康診断　・発散抑制装置 粉じん防止規則 ・粉じん濃度の測定　・健康診断
2020/5/28に遵守評価の結果 環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。 指摘のあった事項については、適正に処理をされていました。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者見直し総括

2019年度は各項目において概ね順調に推移しています。灯油に関しては費用対効果の関係（灯油→電気）から数値が計画地と比べて差が大きくなっています。次年度は基準値の見直しが必要と感じられます。CO2排出係数も2018年度に見なしされ、経営計画も修正されていました。問題は2020年度ですコロナの関係が環境経営活動にどのように影響するかは不透明です。全社一丸となってあらゆることに取り組む必要性を感じます

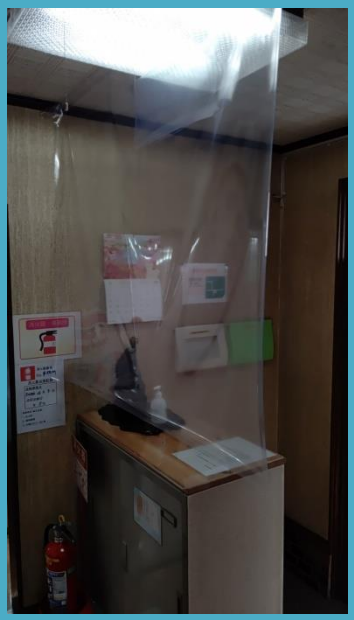
変更の必要性
- 環境経営方針：変更なし
- 環境経営目標：実績を踏まえて設定
- 実施体制：変更なし

本社 3S-S活動

改善提案の実行

新型コロナウィルス対応

ついたてやカーテンを設置し、感染防止対策を行いました。



米子工場 3S-S活動

環境測定
コバルト

今回より、
コバルト・粉じん測定を同時
に行うことになりました。

環境測定
粉じん

米子工場 3S-S活動

工業団地・工場周辺の共同清掃・一斉清掃

4月に行われる予定だった一斉清掃は、新型コロナウィルスの影響により中止。工場周辺の道路清掃を行いました。

グリーン購入とは

・買い物の時に、まず必要かどうかを考えて、環境負荷ができるだけ小さいものを購入する。
・使うときに、長く大切につけるものを選ぶ
・使い終えたら、できるだけごみが少なくなるものを選ぶ

環境省資料より

Reduce Reuse Recycle

<環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベル>

今後もグリーン購入に心がけて努力いたします。